

週間漁海況情報—第18号

平成23年5月2日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

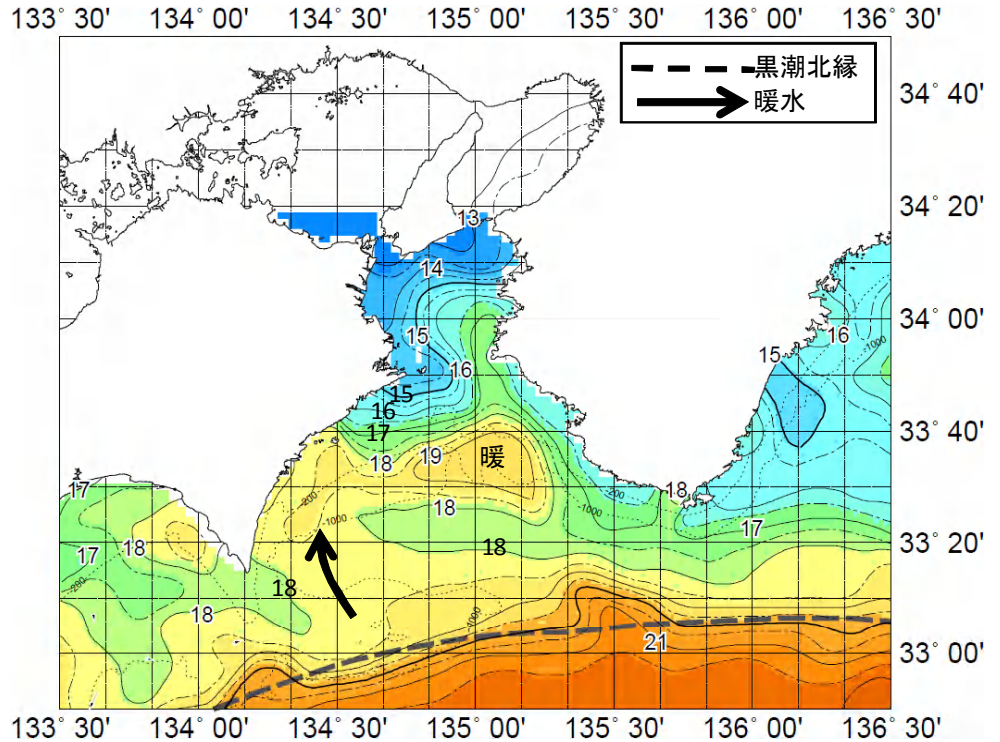
1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図(H23.5.2)を示した。

黒潮は、室戸岬および潮岬沖でやや離岸している。室戸岬以西では、都井岬沖および足摺岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、18～22℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で12～14℃台、紀伊水道で12～16



℃台、海部沿岸で15～19℃台である。

紀伊水道外域では、室戸岬東方海域から18℃台の黒潮系暖水の流入がみられる。紀伊水道外域中央部には、19℃台の暖水域がみられる。

漁業調査船「とくしま」が4月25、26及び28日に行った海部沿岸海区の海洋観測では、水温は表層～100m層で「平年並み」の17.1～14.2℃であった。

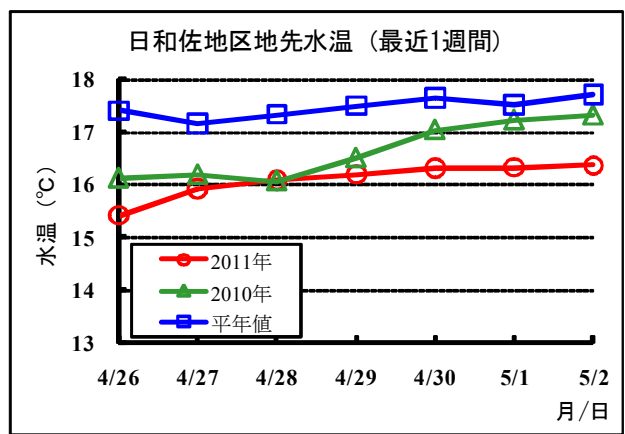
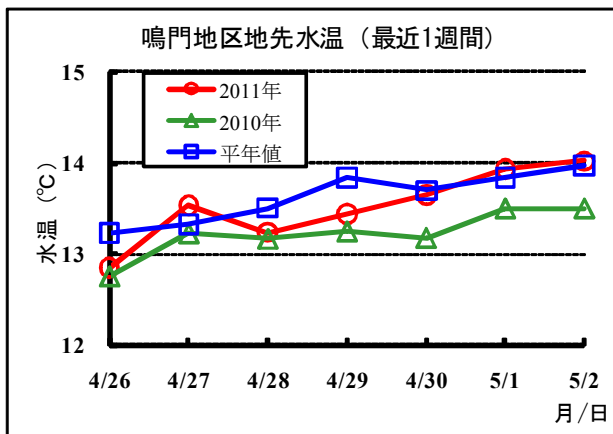
海部沿岸海区観測結果

観測日		水 温						塩 分					
		表層	10m	20m	30m	50m	100m	表層	10m	20m	30m	50m	100m
4/25, 26, 28	今年値	17.1	16.9	16.9	16.7	16.4	14.2	34.4	34.4	34.4	34.5	34.6	34.5
	平年偏差	-0.1	-0.1	-0.1	-0.2	-0.4	-1.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	前年偏差	-0.2	-0.5	-0.7	-0.9	-1.4	-3.2	0.8	0.5	0.4	0.3	0.2	0.1

地先水温 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」の12.9～14.0℃、日和佐地区で「低め」～「やや低め」の15.4～16.4℃、牟岐地区は「低め」～「平年並み」の15.8～17.6℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上



2. 海況の経過

小型定置網：海部沿岸で、アオリイカが0.6トン（1日1隻当たり6kg）、小小主体でゴマサバ主体のサバ類が1.7トン（同51kg）、小主体にマアジが12.0トン（同164kg）、マイワシが3.8トン（同123kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.7トン（同111kg）、イワシ類が6.9トン（同1.1トン）、中主体にクロダイが0.4トン（同68kg）、中主体にハマチが1.5トン（同245kg）、特大・大主体にマアジが1.7トン（同283kg）、中主体にマダイが0.2トン（同35kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、小主体にマサバが0.2トン（同18kg）、中主体にマルアジが0.8トン（同30kg）、メジロが0.5トン（同23kg）、紀伊水道で大主体にタチウオが0.3トン（同26kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 4月25日～5月1日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	92	568	6	
		サバ類	33	1,693	51	小小主体 ゴマサバ主体
		マアジ	73	12,007	164	小主体
		マイワシ	31	3,816	123	
大型定置網	海部沿岸	アオリイカ	6	664	111	大主体
		イワシ類	6	6,850	1,142	
		クロダイ	6	405	68	中主体
		ハマチ	6	1,471	245	中主体
		マアジ	6	1,696	283	特大・大主体
		マダイ	6	211	35	中主体
釣り	海部沿岸	マサバ	11	202	18	小主体
		マルアジ	27	813	30	中主体
		メジロ	22	501	23	
	紀伊水道	タチウオ	10	256	26	大主体

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「やや離岸」～「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の14℃台、日和佐地先は「やや低め」の16～17℃台前半で推移する見込み。

他県情報：和歌山県（4月22日～4月28日）のひき縄でカツオ13.4トン（1日1隻当たり24kg）、定置網でブリ11.0トン（同914kg）、ワラサ26.9トン（同2.2トン）、ハマチ1.0トン（同86kg）が水揚げされた。